

## 「杜の都環境プラン」中間案からの主な修正点

市民意見や市議会第3回定例会における議論等を踏まえ、以下のとおり修正等を行う。

※（ ）内の数字は、資料 2-2 の該当ページ

### 1 目指す環境都市像について (P. 6, 12)

本計画が目指す「持続可能な社会」や環境都市像「杜の恵みを活かした、持続可能なまち」について、説明を追記し、目指す方向を明確にする。

### 2 現行計画に掲げる定量目標の分析について (P. 8)

現行計画に掲げる定量目標のうち、未達成または達成困難な項目について、その要因等を追記する。

### 3 分野別の環境施策について

#### (1) 脱炭素都市づくりについて (P. 14, 15)

本計画中間案では、長期目標として 2050 年温室効果ガス排出量実質ゼロを掲げることとしているが、市民から長期目標に関する意見が複数寄せられたことに加え、本年 10 月 26 日には国が 2050 年排出量実質ゼロを宣言したことを踏まえ、本市が率先して取り組む姿勢を示すことが重要であることから、長期目標について「率先して取り組みを進めていく」旨を追記する。

#### (2) 行動する人づくりについて (P. 47)

5つの分野別の環境施策のうち「行動できる人づくり」について、より主体性が感じられるよう「行動する人づくり」へと修正する。

### 4 建築物の「ZEB化」について (P. 55, 76)

重点的な取り組みに位置付ける「建築物のZEB化に向けた取り組み」について、新本庁舎を含め、いわゆる 100% ZEB とするように誤解を受けないよう、「ZEB化を目指した取り組み」へと表現を修正する。

併せて、「ZEB化」の用語説明を追加し、国は、ZEBについて、エネルギー消費量の削減割合に応じて、『ZEB』、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented の4段階の区分を設けており、このうちいずれかを達成することをZEB化と言う旨を明示する。